

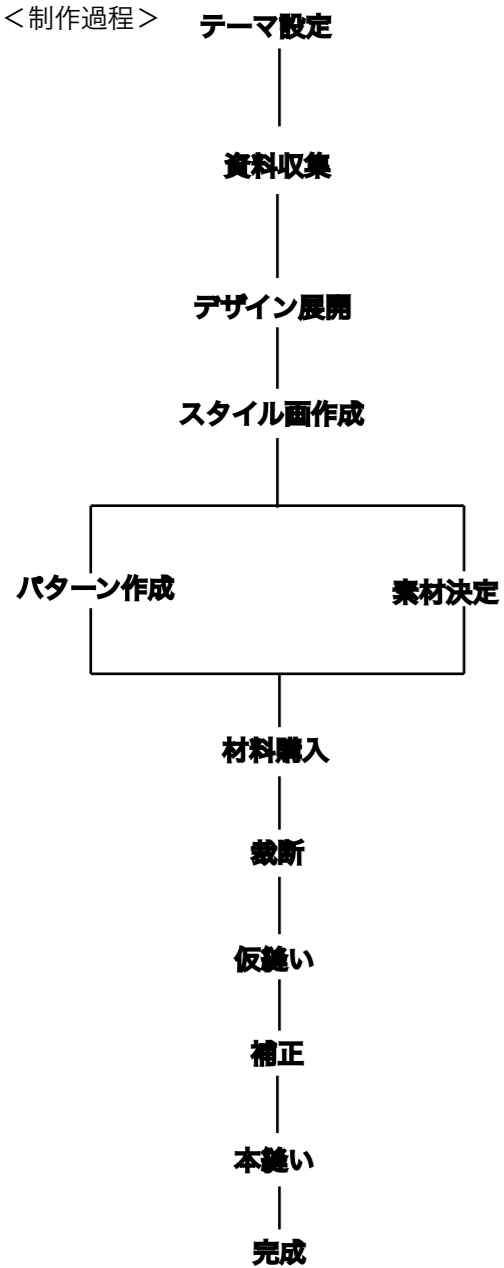
# 昭和のファッションからのアレンジ

13番 小松絵美

## <制作意図>

最近のファッションは、シルエットや着装、複雑な重ね着、シースルーなど様々なスタイルがみられる。比較的流行がはっきりしていた昭和の時代のファッションは今の40代50代の人々には懐かしいものであるが、10代20代にとっては見慣れないものがあり新鮮さを感じると思います。だから、私は昭和の時代のファッションを取り入れた服装デザインをしてみようと思いました。

## <制作過程>



## <服装デザイン>

スタイル1 戦前のシルエットを取り入れました。しかし、ただ筒状なだけではおもしろみに欠けると思いギャザーやプリーツをとり入れ、歩くと裾が広がります。戦前の服装では足首まであるロングスカートでしたがアレンジということで裾を短めにしてみました。  
 スタイル2 服装デザインをするうえでのコンセプトは、ヒッピーですがこれは非生産的、快楽主義、自然主義という言葉からイメージしてデザインしました。非生産的、快楽主義を手足を隠し破いた布をはることにより表現しました。自然主義は、自然の繊維である綿を使い表現しました。  
 スタイル3 70年代のパンタロンをとり入れユニセックスなイメージでデザインしました。

<スタイル1>



<スタイル2>



<スタイル3>



## <考察・感想>

スタイル1は、紙に書いたときと実際に作ったときでは素材や色によって思い通りのイメージに仕上げることの難しさを実感した。  
 スタイル2は、非生産的、快楽主義、自然主義という言葉のイメージ通りにできたと思う。  
 スタイル3は、ユニセックスな感じにしたいくてソフトミンクという見た目が女性らしく触ると固い素材を使用しました。パンタロンは、パンツという形で男性的にジョーゼットという素材で女性らしさを表しました。パンタロンはもう少し裾がフレアになればよかったと思うがユニセックスな感じに仕上がったと思う。